

令和3年度学校だより

銀杏 (いちよう)

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

甲府市立南西中学校

第 22 号

文責：校長 石井 敬

今年度の全国学力・学習状況調査の結果について(その1)

昨年度は、新型コロナの感染拡大防止のための臨時休校中であったことから『全国学力・学習状況調査』を実施することができませんでしたが、今年度は全国の小中学校で行われ、本校でも5月27日(木)に調査対象の3年生が参加しました。遅ればせながら、その結果と課題改善に向けた取組について報告させていただきます。

この調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各学校における課題や生活状況の実態などを明らかにすることで、今後の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立たせることを目的としています。

【全国学力・学習状況調査の調査内容】

○教科に関する問題

- ・国語、数学

○学校質問紙調査

- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

今年度の調査内容は、左の通りです。本校生徒の実態把握及び課題の分析等を通して、まずは私たちの日々の授業を見直し改善を図るとともに、生徒一人ひとりの学力向上に結びつけることができるよう努力してまいります。また、結果を共有することで各ご家庭における“家庭学習”へのご理解とご協力にもつなげていければと思っています。



1. 全国平均・県平均との比較から見た本校の状況

(1) 国語

本校の正答率は全国・県平均よりもわずかに下回っていますが、全国平均の5%以内にあることから、ほぼ同等の結果であると見ることができます。学習指導要領の領域等の平均正答率の状況では、「話すこと・聞くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は比較的高いのに対し、「書くこと」

と「読むこと」の領域には課題が見られます。これは全国・県平均とも同じ傾向にあり、今後の指導に生かすべき課題であると捉えています。また、14の設問すべてにおいて無回答率が全国・県平均を上回っている点が気になる点です。中でも、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」という趣旨の設問や「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」といった問題に対して無回答率が高い傾向が見られます。

一方、「文脈に即して漢字を正しく読む」、「話し合いの話題や方向を捉える」、「質問の意図を捉える」、「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成を考える」などの設問には、いずれも80%以上の正答率を示しており、中には県・全国平均を上回っているものもあります。



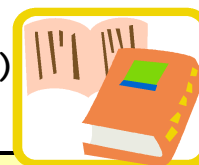
	国語正答率	数学正答率
山梨県平均(%)	66	57
全国平均(%)	64.6	57.2

(2) 数学

本校の正答率は、国語同様、全国・県平均よりもわずかに下回っていますが、全国平均の5%以内にあることから、ほぼ同等の結果であると見ることができます。学習指導要領の領域では、「図形」、「関数」、「資料の活用」においては全国・県平均とほぼ同等の正答率です。しかし、「数と式」においては、整式の加法と減法の計算や一元一次方程式をつくる設問で、全国・県平均を大きく下回っています。また、「数学的に説明する」、「数学的な表現を用いて説明する」、「数学的に表現する」といった設問に対

しては無回答率が高い傾向が見られます。

2. 各教科における主な課題（全国・県平均と比べ正答率が低かった内容）

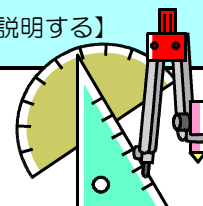


(1) 国語

- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。【意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する】
- 文脈の中における語句の意味を理解する。【「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する】
- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。【「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く】
- 相手や場に応じて敬語を適切に使う。【「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する】

(2) 数学

- 整数の加法と減法の計算ができる。【 $(5x + 6y) - (3x - 2y)$ の計算】
- 具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる。【数量の関係を一元一次方程式で表す】
- 数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。【四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの角の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する】
- 相対度数の必要性和意味を理解している。【2つの分布の傾向を比べるために相対度数の前提となっている考えを選ぶ】
- 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる。【四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する】



3. 教科における主な改善点

(1) 国語

- ・「読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、わかりやすい文章に整える力」をさらに育成するために、根拠や立場を明確にして自分の考えを書いたり、書いた文章を互いに読み合い、具体的な事柄を取り上げて助言し、自分の表現に役立てたりすることを通して、考えを深め、他者にわかりやすい文章を書く学習活動を行っていきます。
- ・「文章の内容を理解したり、自分の考えを形成したりする力」を身につけるために、文学的な文章を読んで考えたことを記録し、伝え合う言語活動を取り入れたり、新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を捉えたりする学習を行っていきます。
- ・漢字の読み書きは、確実に身につけたい基礎知識です。授業の中でも漢字のワークシートの活用や確認テストなどを継続して行い、言語能力の育成を図っていきます。

(2) 数学

- ・計算力を身につけるために、計算の法則を確認したり、正しい計算と誤りのある計算を比較したりしながら誤りの部分を指摘するなど、計算の過程を振り返る学習活動を取り入れます。
- ・数量の関係を文字式で表すために、①数量の関係を具体的な数の式に表す、②言葉を使った式で表す、③文字を用いた式で表す、というように、段階的に考えさせるよう指導します。
- ・相対度数についての理解を深めるために、生徒にとって身近な問題で、階級の度数をそのまま比較することが適切ではないような事例を用いて復習します。
- ・文字式を用いた説明や図形の証明に限らず、自分の考えを説明することの重要性を踏まえ、自分の考えを相手に伝えたり、文章で表現したりする活動を授業の中に意図的に取り入れます。